

# 災害時の緊急連絡システムについて

防災委員会 委員長 市川恭子

平成29年8月1日各支部選出の理事の方に向けて、緊急連絡システムの説明会を開催しました。

冒頭、当事務所協会が参加する緊急連絡システムについて、情報共有システムを導入・運用している「三重県建設業協会」大井様から、導入に至った経緯について説明を受けました。

宮城県での東日本大震災後の状況視察において、震災発生後の協会会員との連絡は不通「連絡手段は無線のネットのみ」という状況から視察当時、宮城県建設業協会では緊急システムの構築途中で、三重県建設業協会でも宮城県で採用準備していた同システムを導入する運びとなった。

（尚このシステムは「全国の何処かに設置しているサーバーを使用して行う」といった高セキュリティ災害協定に基づく活動の支援を行うと共に官公庁にも情報提供が可能。

## 登録者の安否確認

災害発生時、事前登録されたメールに向け安否確認メールを一斉送信して会員の安否確認を行う。



## 災害情報の情報の一元管理

返信メールに会員周辺の被災状況写真を添付（位置情報の通知が必要）して返信する事で、物資輸送、復旧に向けての支援の判断材料として活用できる。

システムではgoogleの地図を使用しており、返信メールの「件名」欄に「被害あり」「無し」と記入する事で「ある（赤）」「なし（緑）」の印が地図上に表記される。



今後は早期の緊急連絡システム運用に向けて、既にご登録頂いている各支部会員様の携帯端末メール宛てに、拠点となる事務局から「安否確認」テストメールの準備を進める予定です。



## 志摩支部



支部長 西尾建築設計事務所 西尾 茂  
副支部長 ナカムラ設計 中村 政文

昭和 49 年 2 月に、当支部は事務所協会前身の志摩建築設計監理協会を設立して早 43 年の月日が経ちました。当初、林設計事務所、松森設計、箕浦設計、志摩建築設計事務所、岩崎設計の 5 者で活動を開始しましたが、現在会員が 10 名となり、今年から 2 名の会員が参加する予定です。今のところ年に 4 回程度の定例会と各メーカーさんの説明会を行っています。参加会員も増えましたのでこれからは今まで以上に活発な活動をしていきたいと考えています。

## 伊賀支部

伊賀支部は今年も活発に活動中です。

### 建材説明会

建材説明会を賛助会員さんのご協力により実施、会員各々の業務に役立てるべく研鑽を積んでいます。



### 空き家の調査

伊賀市空家等対策推進包括連携協定を去年、平成 28 年 8 月に伊賀市と三重県建築士事務所協会を含む関係 7 団体と締結したことにより、昨年度に引き続き今年度も空き家の現況調査を行いました。



### 研修会の実施

本年度は名古屋方面へ出向き吹上ホールで行われた第 47 回建築総合展と三重郡菰野町にある大和ハウス三重工場内の TRY 家 chubu の 2 ケ所を研修視察を行いました。



### PR 活動の実施

伊賀市防災ボランティアコーディネーター養成講座において、一部時間を頂き、建築士事務所協会伊賀支部の活動の PR をさせて頂き、その後、担当者より一般の方でも行なえる「避難所応急危険度判定」のやり方を近年発生している地震の被災地の建物のスライドを基に説明いたしました。





## 桑名支部

桑名支部は、今年度全国大会に 7 名参加。今回は我が支部、松中喜設計事務所の松宮氏が功労賞を受賞され支部会員共々喜んでおります。10 月 28 日、29 日に支部親睦旅行を行いました。あいにく台風 22 号の影響もあり旅行内容を変更せざるを得なかったのですが、そこは桑名支部、悪天候にもめげず親睦を深める旅行となりました。

桑名支部では毎年行っております教育情報委員会での行政懇談会を 6 月 9 日に行い、また技術委員会による桑名総合医療センター工事見学会を 8 月 23 日に行いました。これからも、地域社会に寄り添える団体また会員の親睦を深めるよう活動を継続していきたいと考えております。

平成 29 年 4 月 21 日	定時総会 (第 52 回)
平成 29 年 5 月 31 日	第一回例会・合同委員会
平成 29 年 6 月 9 日	通常総会 (三重会)
平成 29 年 6 月 20 日	行政懇談会
平成 29 年 7 月 27 日	第二回例会
平成 29 年 8 月 23 日	第三回例会
	桑名総合医療センター見学会
平成 29 年 10 月 6・7 日	全国大会 (第 41 回) の参加
平成 29 年 10 月 17 日	建築パトロールへの協力
平成 29 年 10 月 25 日	臨時総会・第四回例会
平成 29 年 10 月 28・29 日	親睦旅行
平成 29 年 12 月 13 日	第五回例会
平成 30 年 1 月 26 日	賀詞交歓会 (予定)
平成 30 年 3 月 14 日	第六回例会 (予定)



和歌山全国大会参加の様子



親睦旅行の様子

## 四日市支部

四日市支部では、例会の他、研修旅行、忘年会、新年会、楽居会（ゴルフ同好会）と会員同士又、賛助会の皆様との懇親に力を入れています。会員の増強にも努める所存です。



例会▲



研修旅行▲

会員数 29 社 (平成 29 年 4 月 27 日現在)

平成 29 年度 支部総会  
4 月 27 日 (木) PM5:00 ~  
支部事業・収支決算・予算案報告、承認

平成 29 年度 例会  
4 月 27 日、6 月 22 日、8 月 24 日、  
10 月 26 日、12 月 21 日

他 10 月 28 日 (土) 支部 研修旅行  
12 月 1 日 (金) 支部 忘年会

今後の予定 (平成 30 年)  
1 月 9 日 (火) PM5:00 ~ 新年会  
2 月 23 日 (木) PM6:00 ~ 例会



●桑名支部●  
株式会社  
マルキ松田組  
一級建築事務所

- 所在地：〒511-0116 桑名市多度町大鳥居37
- TEL：0594-48-2520
- FAX：0594-48-3242
- 代表者：松田貴仁
- 設立：平成26年5月26日

父が経営する施工会社の中に構造設計事務所を設立し、もうすぐ4年になります。安全・安心はもとより、その建物に合った、意匠・設備・施工そして建築主にとって総合的によい建物となるような構造設計をこころがけていま



す。また、専門外の方々にも理解を得ることができるよう「説明できる構造設計者」を目指しています。構造設計の原理原則を軸に、技術や基規準、社会情勢の変化に対応していけるよう日々研鑽していきたいと思います。



事務所紹介

- 所在地：〒510-0007 四日市市別名5-4-28
- TEL：059-334-3303
- FAX：059-334-3486
- 代表者：森 勝雅
- 設立：平成8年4月1日

●四日市支部●  
BOSCO  
設計事務所



1992年イタリア・フィレンツェ  
学力を主な理由として大学に進学しなかった私は22歳まではぶらぶらしようと決めバイトで稼いだお金を握りしめ単身渡伊、ルネッサンス期の純粋美術（絵画、彫刻等）を見てまわる。しかし美術館めぐり教会めぐりというのは、どんどん内向的になっていくもので、アパートに籠りがちになり進む方向も解らなくなっていく。  
そんな中、気分転換に画家の友人との小旅行へ出かける。リビエラ海岸へと続くピアレージョの町、糸杉とオリーブ、地中海の風、石畳の上り坂、オレンジの橙、城壁に囲まれた古い町シエナ、ルッカ、太陽が射す石づくりの建築の光と影。  
建築に「もしかして永遠」と思わせるような幻想を抱く。  
そうだ建築してみよう。日本へ帰り先輩でもある友人と建築事務所を始める。  
名前はBOSCO（ボスコ）意は、森である。



- 所在地：〒510-0207 鈴鹿市稲生塩屋2-15-2
- TEL：059-373-6015
- FAX：059-387-2934
- 代表者：樋口 健治
- 設立：平成15年5月12日

●鈴鹿支部●  
樋口設計事務所

一人でやるようになってから、随分時間が経ちました。業務の内容は、前の会社がツーバイフォーを主に施工していたのもあって、今でもそちらの方面の仕事が多いです。ある時から構造図面を引くようになって、今では簡単な構造検討もやる様になっています。

時間が足りない時も多いのですが、声を掛けてもらった仕事はなかなか断る勇気も持てず・・・。

毎日忙しくしております。

華々しい成果は無いですが、やれる事を根気強くやっています。



## 事務所紹介

●津支部●  
株式会社  
前川建築研究所

- 所在地：〒514-0007  
津市大谷町87-10 大谷ヒルズC207
  - TEL：059-229-8322
  - FAX：059-261-6712
  - 代表者：前川 忠則
  - 設立：平成25年 9月 1日
- E-mail/tadanori-m@zd.tv.ne.jp 会社HP：URL:<http://maegawa-archi.jp/>



## 【設計ポリシー】

事務所設立から4年経過し、皆様の御支援のもと医療福祉施設から店舗・個人住宅まで設計させていただいています。設計は建築家とクライアントとのコラボレート。お仕着せのデザインや予算バランスを無視した計画は認められないと考えます。ことに建築家はアカウンタビリティ（説明責任）があり、曖昧さをクライアントに与えては今後の建築業界では生きてゆけないと確信しています。建物が完成してからクライアントと末永くお付き合いができる、皆様に信用される会社となるよう努力していきます。



# 目 安 箱

## 足元にあるもの

津支部 山本 覚康

年始には多くの方が故郷に帰省したり、生家を訪れます。中には親族と談笑をしながら、自分のルーツに思いを馳せる人もいるでしょう。思えば平成の大合併からしばらく月日が経過しました。津市においても平成 18 年に 10 市町村が合併し、新津市が誕生しました。私はその一つ、旧一志郡白山町の出身です。

我々の住む社会には、一定地域毎に独自の歴史があり、それぞれの文化が継承されています。その中には、普段は気に留める事が無くても、一度フォーカスする事でその価値を再確認出来るものが多く在ります。旧白山町・美杉村および松阪市に点在する白山比咩神社しらやまひめのが旧白山町民にとって、その一つに当たると私は思います。

これらの神社は 1553 年、鎮徳上人により加賀白山神社（石川県）の分霊を勧請・奉祀したのが始まりとされ、七社を総称して七白山と呼ばれます。『大正時代「七白山にお参りすると、加賀白山にお参りするのと同じご利益がある」と盛んにお参りされていた』といます。（白山みちしるべの会、パンフレット参照）興味深いのは、旧一志郡や松阪市に存在する多くの神社

が、伊勢神宮の影響を受けた神明造りの社であるのに対し、これらの神社が春日造りの形状で建てられている事です。遠く加賀から分霊がもたらされた事も含め、歴史の中に何かの裏付けがあるのでしょうか。私もその何社かを訪れた事があります。補修され、再建されたものもありますが、時代を遡れば、少なくとも戦国の時代からそこに祀りの場は存在し、それを現在まで保存してきた地域と人々がいた事は事実です。

建築に携わるものの職務について考える時、自分の居る地域を知り、学ぶ事は我々にとって重要な事だと思います。国に目を向ければ東京への一極集中は留まる事はありません。三重県内でも、南部の市町村や北中部の山間地域で人口の流出は進み、近い将来地図上から姿を消す場所もあるでしょう。このような中、身近な地域の個性を再認識し、それを発信する事は、その場所の価値を高め、活性化を促す行動になるのではないのでしょうか。魅力ある空間作りが我々の仕事ならば、魅力ある地域作りもまた、私達の職務の一つかも知れません。





## 事務所協会入会のお願い

松阪支部 伊藤 達也

建築士事務所登録数が、緩やかな右肩下がりの曲線を描いてきたようなここ数年。今年度あたりから、急な滑り台を降りる曲線に変わるような減少傾向が顕著に表れています。現実的に、建築界において、高齢化と人出不足が深刻化しているという状況からも、理解できます。会員外の建築士事務所が、高齢化のため区切の良い時に、廃業という道を選択される場面が、よりリアルに想像できます。その為、皮肉にも若干、事務所協会会員比率は上昇してしまいます。会員事務所の皆様の中には、生涯現役、世代交代で事業継承が行われたりと、明るい事務所もあるとお見受けいたします。バブル時代の建設ラッシュ。そして、不況の道の先に、就職氷河期、

構造計算偽装事件があり、法改正の厳格化、リーマンショック。未曾有の東日本大震災。建築界における激動の時代を生き抜いてこられ、身につけた英知と技術力を、後発の後輩達に対し、ご指導ご鞭撻をいただきたいと思うのは、私たち世代のみだけではない。改めて建築士事務所協会の必要性を感じます。

独立のお許しをいただき、直ぐに事務所協会に入るよう勧められました。複数の建築団体に入れたのは、出身事務所のおかげです。そして、先輩方から色々と教えを頂き今があると感じています。

仕事あつての団体活動と言ってしまうのは、あまりにも浅はかかもしれません。団体として、誰かが担っていかなければならない、業務環境の改善や諸問題の対応となれば、全く別次元のような気がします。貴重な仕事の時間を差置いて、年間何日も費やす理事会、委員会、それを束ねる執行部の皆様には、改めて、感謝と敬意を表します。



## 「建築関係団体の中にいて」

伊勢支部 森本 則晃

3年半ほどから（一社）三重県建築士会の会長を仰せつかっています。また、本業は建築施工業ですが、建築士事務所も兼業していますので、3年ほど前に（一社）三重県建築士事務所協会にも入会させていただきました。建築関係団体では、事務所協会・建築士会・建設業協会と所属させていただいていまして、結構違った会で同じ方々とお会いしています。こちらでは事務所協会の顔をし、そちらでは建築士会の顔をし、あちらでは建設業協会の顔をしています。伊勢支部には、こういった方々が7、8人います。また、設計監理業務の方は、事務所協会・建築家協会・建築士会と、3つの顔を持っている方

もたくさんみえると思います。それぞれの会が独自の活動をし、切磋琢磨して会を盛り上げていくのは、大変大事なことだと思います。が、同じ方が、同時に又は少し時期をずれて、別の会の役職に就いている方もたくさんみえるようにも思います。

現在は、どの会も会員数の減少に悩まされています。どうすれば、建築関係の団体がお互いに継続して会を発展していけるのか、考える時期に来ているようにも思います。どの会も、強制入会として全員加入を望むことが出来ません。しかし、任意加入だからこそ、入会された方は何らかの意思や目的を持ってその会に入会されているはず。そういった方こそ大切なのだといえると思います。

少子化の中で建築士になる方も減っています。同じ方が違った会で活躍をされている現状をみますと、これから同じような建築関係団体をどうしていくのかを考える時かもしれません。



## 時代の流れと設計者の思い

志摩支部 西尾 茂

私たちの生きている現代は、凄まじい勢いで技術革新のが進んでいます。そして建築設計の分野においても意匠・構造・設備の進歩について大きな時代の流れがあります。

その中でも目覚ましい進歩を遂げているのが設計手法です。その中で、確認申請に於ける「4号確認」の制度は、見直すべき時代が来ているのではないのでしょうか。

1970年代に、デラックの量子力学を読み、1980年代に入ると数理科学の本の中に量子コンピューターが記されていました。当時は、まだコンピューターの初期で殆どの事務所では利用されていない時代であった。当時私の事務所では、ワードプロセッサを導入していた頃であり、新耐震の構造計算手法が取り入れられた時期、それは、手計算では、膨大な時間が必要で、コンピューター（以降「PC」と示す）に移行せざるを得ない時期になっていました。1980年代半ばに建築CADを導入した時期でした。

現在における建築は、PC抜きでは、進められない状況にあり、最先端ではBIMと言われる設計手法に替わりつつある。ここに人工知能（以降「AI」と示す）が加わり設計の効率化が進んでいる。

1990年半ば頃から10年ほどの間、ある事情により窮地に陥った時期があった。

この時期は、仕事もなく時間だけが十分にあった時期で、色々なことを学習する最良の時期であったことを現在感じています。

恵まれすぎた環境でぬるま湯に浸かった状況では、体験できなかった時間を頂いた方々に感謝する必要があるのではと思う今日この頃です。

現在は、現状のPCシステムでは、演算能力の限界に近づいている。そして、現れたのが量子コンピューターで、その演算速度は、現状でスーパーPCの1億倍の性能を誇る性能を持ち、電気の消費量においても同等のPCでは、原子力発電所1基分が必要とされるものが、数戸の住宅の消費電力で補えるような時代が来ています。そしてAIが加わる。

このような時代に、設計者が建築士であることにより、構造図を省略出来る「4号確認」は、構造図の書略（省略≠作成しない）はもとより、すべての確認申請には安全に関する構造「構造図・構造計算書」の添付を必須とする時期が来ている。これらを実現することにより建築士の地位の向上に繋げ、建築士一人一人の技術力の向上に建築士事務所協会が役割を担う必要があるのではないのでしょうか。

そして、その原点は、建築士になった時が、スタート地点であり、どれだけの情熱を建築士として注ぐ努力を続けることが出来るかを問われているのではないのでしょうか。





## New face

# 新入会員紹介

わぐみ合同会社 わぐみ建築設計

代表者 勝川 通貴  
住 所 〒514-0015 津市寿町 11-1  
T E L 059-271-6759  
F A X 059-993-0711



エムオーテクノ建築設計事務所

代表者 眞弓 誠  
住 所 〒516-0071 伊勢市一之木 4丁目 13 番 34 号  
T E L 0596-29-3177  
F A X 0596-29-3178



特に“クリーンルームを持つ工場”は、建屋設備含めお任せください。

株式会社近藤建設一級建築士事務所

代表者 中山 陽子  
住 所 〒516-0051 伊勢市上地町 3604 番地 1  
T E L 0596-28-0245  
F A X 0596-28-0250



株式会社土永

代表者 土永 豊美  
住 所 518-0817 伊賀市下友生 2206  
T E L 0595-21-3941  
F A X 0595-21-9610





視点・論点

建事協MIE No101に続いて、熊野古道シリーズ九鬼水軍発祥の地「九鬼<sup>あかね</sup>茜の森・奥地の滝」を紹介したいと思います。

### 九鬼

熊野市の市木<sup>いちぎ</sup>・木本<sup>きのもと</sup>・二木島<sup>にぎじま</sup>、尾鷲市に入り三木里<sup>みきさと</sup>・七鬼の滝(賀日)<sup>ななき</sup>・八鬼山<sup>やきやま</sup>・九鬼と木(鬼)のつく地名が続きますが、この木は鬼と読み替えます。「鬼」とは修験道のことで、九鬼(九木)は九番目に開かれた修験道の地を意味します。

また、九鬼町は、戦国時代、織田信長方の水軍として名を馳せた「九鬼水軍」発祥の地でもあります。九鬼には美人が多いと言われますが、水軍が美人を略奪してきたからだと言われています。

### 奥地の滝

九鬼町の宮谷橋から宮谷川をさかのぼること約10分、奥地の滝がみえてきます。傍らには「不動明王」が祀られています。幅約10m、高さ5m、段上の岩を流れ落ちる水しぶきが豪快です。民家の近くでこれほどの滝が見られることに感激し、マイナスイオンをたっぷり浴びることができます。

江戸時代、九鬼港は風待ち港として栄えましたが、給水地でもありました。

その水源がこの奥地の滝で名水として人々に愛されていました。

灘(兵庫県)から江戸へ樽酒を運ぶ途中水夫たちが盗み酒をし、減った分を「奥地の滝」の水を足してごまかしたつもりが、酒の味がより旨くなったと逸話があり、この水は「桜水」と呼ばれています。

### 茜の森

国道311号から早田町へ入る所に「茜の森」へ続く林道の入り口があります。

茜の森は九鬼湾に面した「ナサ崎」にある森林公園で、一帯は野鳥保護区及び国立公園となっています。クス、タブノキ、ウバメガシ、ヤマモモなど天然の広葉樹の森が四季折々の景観をみせ、芝生広場や展望台4カ所のほか、延長2.6kmのなだらかな散歩道は誰もが安心して歩けるハイキングコースです。

途中、磯へ降りる場所があり知る人ぞ知る磯釣りポイントでイガミや石鯛が釣れるそうです。

(ナイショです)



(紀州支部 植松 顕哉)

「魅せます：尾鷲秘境ガイドブック資料」より